

# 戦 評

大会名 平成30年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会  
岩手県予選会

---

岡崎建設Owls	{	22 — 25	}	不来方高校
		25 — 19		
		25 — 18		

試合時間 1 時間 16 分

---

主 審 山根 寿

---

副 審 手島 瑞夫

---

## 戦 評

---

第1セット、不来方高校は2番新谷のクイック攻撃で得点を重ね、終盤まで岡崎建設Owlsにリードする。追いつきたい岡崎建設Owlsは11番佐藤、6番橋本の高さのあるスパイクで応戦するも得点出来ず、このセットは不来方高校が先取する。

---

第2セットは、岡崎建設Owls17番太野の活躍で岡崎建設Owlsが取り返す。

---

第3セット、不来方高校は1番伊藤のサイドからの力強いスパイクで序盤リードするも、岡崎建設Owls16番下平のサイド、6番橋本のクイックで徐々にリードを広げられ、成年の意地を見せた岡崎建設Owlsがこのセットも連取し、3年連続でブロックラウンドへの進出を決めた。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

※ 7～10行にまとめること。

戦評者 佐々木 泰幸

---

岩手県バレーボール協会  
戦 評

